

平成14年度 事業報告書

(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

【実施方針】

- 1 生涯学習関連機関との連携，ネットワークを構築することを通して，市民ニーズを踏まえた事業展開を図る。
- 2 市民参画を進め，市民による市民のための学習活動を支援する。
- 3 財団が有する専門性・柔軟性を活かしながら，効率的・効果的な事業運営を行う。

【事業報告】

1 **学習機会提供事業**

(寄附行為第4条第1号に掲げる事業)

- (目的) 施設機能を有効に活用することにより，市内の関係機関及びサークル・団体との連携を図りながら，市民の多様化した学習ニーズに対応した機会を提供する。
- (効果) 学習機会の質的・量的拡充が図られることにより，受講者層が拡大し，市民の生きがいづくり，社会参加が促進された。

(1) さっぽろ市民カレッジ(文化・教養系)

年3期(平成14年5～8月,9～12月,平成15年1～3月),市民を対象に,学習活動の入門編としての講座を開催した。

趣味・実用的内容の講座から,現代的課題(社会の急激な変化に対応し,人間性豊かな生活を営むために人々が学習する必要のある課題)の解決に関わる講座まで,幅広い分野で実施した。

なお,さっぽろ市民カレッジ(後掲受託事業分を含む。)では,取得単位数に基づき,「学士号」(50単位),「修士号」(80単位),「博士号」(120単位)を認定する評価システムを実施しており,今年度は新たに7名が学位を取得した。

【実績】49講座(定員1,584名)

受講者数1,417名/修了者数1,166名

学位取得者:「学士号」2名,「修士号」4名,「博士号」1名

(2) 生涯学習センター施設機能活用事業

ア 舞台操作技術講習会

平成14年8～10月,市民を対象に,舞台操作技術の習得を目的とした舞台操作技術講習会を開催した(8日間)。

【実績】受講者数19名(定員30名)

イ 映像スタジオ技術講習会

平成15年1～3月,バーチャルスタジオの特性を学ぶとともに,デジタル編集技術の習得を目的とした講習会を,市民を対象に開催した(8日間)。

【実績】受講者数32名(定員30名)

ウ スタジオ技術研修会

平成14年10月,市民を対象に,番組制作技法の習得を目的としたスタジオ技術研修会を開催した(2日間)。

【実績】受講者8名(定員20名)

エ バックステージ・ツアー

平成15年2月,通常では見たり操作したりすることのできない「ちえりあホール」の舞台裏・設備を親子で体験する機会を提供した(1日間)。

【実績】参加者数11組22名(定員18組36名)

(3) 視聴覚学習機会提供事業

16ミリ映写機操作技術講習会

年3回(平成14年6月,10月,平成15年2月),学習活動や地域活動において16ミリ映画を利用し学習効果を高めてもらうことを目的として,16ミリ映写機操作技術講習会を市民対象に開催した(各回1日間)。

【実績】受講者数36名(定員各回20名)

(4) 青少年科学館学習機会提供事業

ア 親と子の科学教室

平成 14 年 11 月に、親子のふれあいとロボット技術の体験を目的とした教室を開催した。

【実績】受講者数 18 組 (定員 18 組)

イ 宇宙セミナー

平成 15 年 2 月に、電波観測に携わる研究者を迎え市民を対象に講演会を開催した。

【実績】参加者数 119 名 (定員 240 名)

ウ 星空の歩き方

青少年科学館の天体観測機器やプラネタリウムを活用しながら、宇宙・天文についての知識を深めるための講座 (年 3 期各 6 回) を開催した。

【実績】受講者数 1 期 34 名 (延べ 116 名)
2 期 33 名 (延べ 124 名)
3 期 35 名 (延べ 180 名) 計 102 名 (延べ 420 名)

(5) 共催事業

ア ジュニア・ウィークエンドセミナー (共催：札幌市教育委員会)

平成 14 年 4 月からの完全学校週 5 日制に併せ、週末の土曜日を有意義に過ごす学習機会として、小学校高学年及び中学生を対象に施設機能を活かした講座を実施した。

(ア) 札幌市生涯学習センター

生涯学習センターでは、「親子クッキング教室」及び「子どもパソコン教室」をそれぞれ年 9 回開催した。

【実績】親子クッキング教室 154 名 (定員各回 24 名)
子どもパソコン教室 205 名 (定員各回 30 名)

(イ) 札幌市青少年科学館

青少年科学館では、「電流の流れとはたらき」「雪の結晶を作ってみよう」等の教室 (8 回) と天体観望会 (2 回) を開催した。

【実績】参加者数 211 名 (年 10 回実施)

イ 実年ピアノ教室 (共催：(社)全日本ピアノ指導者協会北海道支部)

生涯学習センターの音楽スタジオを活用し、ピアノ演奏を学ぶとともに、音楽を通じた仲間づくりのきっかけとして実施した。

【実績】火曜日コース (2 クラス) 受講者延べ 410 名
水曜日コース (5 クラス) 受講者延べ 738 名

2 人材活用育成事業

(寄附行為第4条第2号に掲げる事業)

(目的) 市内の関係機関及びサークル・団体との連携を図りながら、学習活動を通じた市民活動及びまちづくり活動を担うことのできる人材を育成する。

(効果) 学習活動を通して人材を育成し、その人材が活躍することにより、学習活動
学習成果の還元 さらなる学習活動、といった学習活動の質的・量的拡充
が図られ、結果として、ボランティア等による市民活動及びまちづくり活
動の活性化が図られた。

(1) 生涯学習ボランティア育成事業

市民の生涯学習を支える「ちえりあ学習ボランティア」に対して、定例会(毎月1回)等を通じ、講座企画や組織運営について助言や指導を行い、ボランティアとしての資質向上に努めた。

また、今年度は、「さっぽろ市民カレッジ」における6講座をボランティア活動の実践の場として提供した。

平成15年3月には、ボランティアとして必要な知識や心構えを習得するための研修会を開催するとともに、1年間の活動記録を冊子にまとめた。

【実績】登録者数49名/定例会参加者数延べ349名/研修会参加者33名

(2) 学習指導者育成事業

区民センターや地区センター等市民の生涯学習活動を支援する施設の職員を対象として、生涯学習に関する基礎的な理解を深めるとともに、事業企画・立案に必要な知識・技術を習得するための研修会を開催した。

【実績】参加者数53名(定員60名)

3 学習活動支援事業

(寄附行為第4条第3号に掲げる事業)

(目的) 市内の関係機関及びサークル・団体との連携を図りながら、情報収集・提供をはじめとして、市民の自主的活動や連携・交流活動を支援する。

(効果) 学習活動にこれまでかかわってこなかった市民に対しては、きっかけづくり

を提供し、学習活動を行ってきた市民に対しては、これまでの学習成果を活かす場を提供することができ、生涯学習活動の底辺が広がった。

(1) 生涯学習普及啓発事業の実施

ア 生涯学習フェスティバル

オープン2周年を迎えた平成14年8月、生涯学習のさらなる普及啓発を目的として、生涯学習総合センターを会場に開催した。本谷美加子オカリナ・リサイタルやピーター・フランクル(数学者)講演会、さっぽろ市民カレッジ1日体験講座(陶芸、日本の歌、手づくりパンなど)等を学習機会として提供したほか、市内で活動する各サークルの発表会等を学習成果の発表の場として実施した。

なお、同フェスティバルは、複合施設の特徴を活かし、青少年センター及びリサイクルプラザと共催で開催した。

【実績】参加者数5,345名〔内訳：リサイタル381名/講演会430名/体験講座等663名/サークル発表会等34団体1,560名/青少年センター関係1,301名/リサイクルプラザ関係1,010名〕

イ 映画試写会

年6回(平成14年5月,8月,9月,11月,平成15年1月,3月),視聴覚センター所有の16ミリフィルムを活用し開催した。

【実績】入場者数1,188名

ウ オペラシアター

年3回(平成14年9月,12月,平成15年3月),1階メディアプラザで貸し出しを行っている音楽資料等の利用促進を図るために、生涯学習センターが所蔵している映像資料(LD,DVD)を活用した、質の高いオペラ芸術の魅力を楽しむ場として実施した。

【実績】入場者数554名

(2) ボランティア活動・サークル活動促進事業

市民にとっての学習の場を広げるために、継続して学ぶことのできるサークル活動の育成を支援した。

【実績】サークル3団体

(さっぽろ市民カレッジ講座終了後に受講生が中心となりサークルを結成)

(3) 共催事業

ア 人形劇フェスティバル(共催：札幌市青少年婦人活動協会、札幌人形劇協議会)

平成15年2月に、親子を対象とした、人形劇フェスティバルを開催した。

【実績】入場者数1,372名

イ ふれあいコンサート(共催：(社)全日本ピアノ指導者協会北海道支部)

年5回(平成14年4月,5月,7月,10月,12月),市民を対象としたピアノ

コンサートを開催した。

【実績】入場者数 9 1 9 名

ウ 札幌市児童生徒社会科研究作品展(共催：北海道教育地図研究会)

平成 14 年 10 月に、地域社会に根ざした身近な課題について、市内小・中学校の児童生徒が個人やクラブ活動で行った研究成果としての地図や立体模型を展示、表彰した。

【実績】入場者数 9 2 6 名（参加校数：小学校 76 校,中学校 15 校）

エ 札幌市中学校科学クラブ研究発表会(共催：札幌市中学校文化連盟)

平成 14 年 11 月に、市内中学校の科学クラブを対象に、視聴覚機器を利用した科学研究の活動発表会を開催した。

【実績】参加校数 1 1 校 1 4 8 名

オ 科学技術週間事業「科学映画会」(共催：日本科学技術振興事業団)

平成 14 年 5 月に、科学技術週間協賛事業として科学技術映像祭の入選作品を上映した。

【実績】入場者数 2 4 2 名

(4) 学習情報誌の発行

生涯学習関連施設及び団体が札幌市内及び近郊で実施している講座等の情報を一冊にまとめ、年 3 回（4 月，8 月，12 月）発行した。

【実績】各回 8,000 部（年間 24,000 部）

4 調査研究事業

（寄附行為第 4 条第 4 号に掲げる事業）

（目的） 市民の学習ニーズに対応した生涯学習事業のあり方について調査研究する。

（効果） 財団が有する専門性を駆使しながら行った調査研究を、財団実施事業の内容改善に活かすことにより、事業参加者の拡大につながった。

(1) 生涯学習に係る調査研究

生涯学習に関わる各種資料の収集整理を行うとともに、他都市の先進事例の情報収集に関わる調査研究を行った。

5 さっぽろ市民カレッジ（受託事業）

（寄附行為第4条第5号に掲げる事業）

（1）さっぽろ市民カレッジ（市民活動系，産業・ビジネス系）

札幌市からの委託により，年3期（平成14年5～8月，9～12月，平成15年1～3月），市民を対象に，リカレント教育を中心とした段階的・継続的な学習機会の提供を目的とする講座を開催した。

大学高等教育機関と連携を図りながら実施したほか，身近にまちづくりを考える講座や国際観光都市札幌として外国人を温かく迎えるための講座など，札幌市の関係部局と連携した講座も実施した。

【実績】40講座（定員1,160名）

受講者数987名 / 修了者数840名

6 生涯学習関連施設の管理運営（受託事業）

（寄附行為第4条第6号に掲げる事業）

（1）札幌市青少年科学館の管理運営

札幌市からの委託により，科学技術に関する学習機会や体験機会の提供を目的とした札幌市青少年科学館の管理運営を行った。

（展示事業の管理運営，プラネタリウムの管理運営，企画特別展の開催，常設イベントや体験イベントの開催）

ア 展示事業の運営

（ア）常設展示

展示物を「見て」，「触れて」，現象を「考えてみる」ことができるように，宇宙 北方圏 原理・応用 マルチメディア のテーマを主として，より印象として残り，理解しやすい展示物の整備を行った。

特に，平成15年3月に宇宙・天文コーナーを「太陽系プラネットツアー」コーナーとして全面的に更新した。

（イ）実演展示・実験等

来館者が科学や科学技術について理解を深められるように，サイエンスショーやテレビスタジオなど，解説を交えながらの参加形式による実演等を行った。

また，来館者が多い日曜・祝日に，科学に親しみやすい実験や工作会を行った。

事業名	趣旨及び概要
サイエンスショー	化学・物理系実験を解説員が実演し，科学の不思議さや楽しさを伝え科学への関心を高めるため，延べ 791 回実施した。 【実績】観覧者数 19,322 名 題材：4 月～6 月「“水”の秘めたるパワーをさぐる」 7 月～10 月「地震をさぐる」 11 月～2 月「物の運動を考えてみよう」 3 月 「化学反応の魅力を楽しもう」
ちょびっとサイエンス	解説員とのコミュニケーションの中で，科学への関心を高めるため，簡単な物理，科学の楽しさを伝えた。
テレビスタジオ 人工降雪実験 低温展示室	装置の動きや模型展示の仕組みでは伝わりにくい科学現象を，実演や解説により紹介した。
日曜実験室	実験を体験することによって子供達の「科学する心」を養うため，延べ 65 回実施した。 【実績】参加者数 890 名 テーマ：4 月～5 月「水と食塩とスーパーボール」 6 月～9 月「火山灰を調べよう」 10 月～1 月「こまの世界に入ってみよう」 2 月～3 月「水溶液の性質を調べよう」
日曜工作室	工作を通して科学的動作原理，材料の利用，道具の正しい使い方等の習得と興味を喚起するため，延べ 79 回実施した。 【実績】参加者数 2,670 名 題材：4 月～7 月 「びゅんびゅんスパーカー」「モーター飛行機」 8 月～12 月「おもしろかざぐるま」「風向風力計」 1 月～3 月「マブルまんげきょう」「和ガラム万華鏡」

(ウ) 教室・講座

気象講座	気象学の啓発を図るため，平成 14 年 7 月に日本気象学会北海道支部との共催により，身近な気象現象や話題性のあるテーマについて，専門の講師が最新の研究・情報をわかりやすく紹介した。【実績】受講者数 56 名 テーマ： 氷結晶の形を探る 宇宙実験をめざして 大気の塵を探る（黄砂から降雪まで） 北海道の気候 過去，現在，そして未来 テレコネクション 日本の天気を左右するもの
------	---

イ 天文事業の運営

市民の天文分野に対する関心に応え，さらに興味・関心を高めるため，身近なところで天文に親しむ場を設定し，天文に関する基礎知識から最新の情報までを提供するとともに，各種天文事業を実施した。

(ア) プラネタリウム

一般投映	天候や時間に関係なく星空を投映できるプラネタリウムを使って、星や星座を知る機会、天文学の初歩から最新情報までを学習する機会を提供した。 【実績】観覧者数 102,919 名 / 投映回数 1,441 回
学習投映	小中学校を対象に、理科授業の一環として学校の授業では理解することの難しい天体の動き、街中では見ることのできない満天の星空を疑似体験させ、天文への興味・関心を喚起した。 【実績】観覧者数 市内小学校 198 校 / 16,674 名 市内中学校 2 校 / 225 名
夜間特別投映	季節あるいは新しい天文的話題の提供、および通常の投映時間では鑑賞できない人びとへの機会の提供のため、12 回実施した。 【実績】観覧者数 1,716 名 / 投映回数 12 回

(イ) 天体観望事業

天体観望会	プラネタリウム夜間特別投映にあわせて、一般市民を対象に科学館駐車場において移動天文車を使った観望会を行った。【実績】来場者数 700 名 / 実施回数 13 回
移動天文台	天文台を利用する機会の少ない市民に、自分達の住む地域で気軽に天体観望する機会を提供するため、移動天文車により各地へ出向き、天体観望を行った。 【実績】参加者数 3,662 名 / 実施回数 35 回
札幌市天文台夜間公開	多くの市民に天体観望の機会を提供し、天文に対する興味・関心を高め、科学への夢を育むため、夜間の公開を行った。 【実績】利用者数 724 名 / 実施回数 33 回
西岡天文台夜間公開	市民の天文に対する興味・関心を高めるため、一般公開することを条件に市民から寄付された西岡天文台において夜間公開を実施した。 【実績】利用者数 62 名 / 実施回数 2 回
さっぽろ星まつり	札幌市公園緑化協会との共催で、公園利用事業の一つとして天体観望事業を実施し、市民の天文に対する興味・関心を深めるため、平成 14 年 9 月に 2 日間実施した。 【実績】入場者数：1,800 名

(ウ) 「宇宙の日」関連事業

作文・絵画コンテスト	「宇宙の日(9月12日)」を記念して、日本宇宙フォーラムとの共催により市内小中学生から宇宙に関する作文・絵画を募集し、展示・表彰した。 応募数：作文 小学生 80 名、中学生 2 名 絵画 小学生 548 名、中学生 11 名
------------	---

(I) 教室・講座

天文教室	天体に接する機会の少ない市民に，天文の基礎的な学習機会と実際の星空を観望する機会を提供し，天体科学に対する興味・関心を高めるため，7回実施した。 中高齢者のための天文教室（2日で1コース） 【実績】参加者数 1回目（平成14年6月） 延べ77名 2回目（平成14年10月） 延べ79名 親と子の天体教室（1日1コース） 「手作りの天体望遠鏡で星を見よう」 【実績】参加者数 1回目 27組 65名 2回目 29組 74名 3回目 29組 71名 （各回とも平成14年8月実施）
------	---

(a) 天文相談コーナー（星のへや）

代表的な天体望遠鏡や参考図書などを常備した天文相談コーナーを設け，天体に興味を持った人の初歩的な疑問に答えた。

【実績】開放日数150日，利用者数4,500名，相談者数450名

(b) 天文指導員研修

社会教育の一環として地域における天文普及活動を担う人材を育成するため，市内在住の大学・短大生を対象に，天文事業への参加や定期研修の実施により天文指導員を養成した。

【実績】登録者数53名，研修回数21回

(c) その他（移動天文車更新）

平成15年3月に，20年間使用された移動天文車「オリオン号」を25センチ屈折望遠鏡を備えた「オリオン2世号」として更新した。また，障害者やお年寄りから子どもまでが自由に望遠鏡を覗けるようにバリアフリー化した。

ウ 特別展の開催

小中学校の夏休みや冬休みの期間に合わせて，特別展を開催した。

夏の特別展「身体の中を調べ隊」	
趣旨及び概要	子供にとって興味深い人体に関する参加型展示物を導入した。
実施期間	7月27日～8月18日（23日間）

展 示 構 成	口，鼻，目，心臓，腸等の体験展示コーナー及びパネル展示
入館者数	77,085名
冬の特別展「工作大集合2003」	
趣旨及び概要	子供向けの工作会を展開した。
実 施 期 間	1月5日～1月19日（15日間）
展 示 構 成	工作コーナー，遊ぶコーナー，おり紙コーナー等
入館者数	19,811名

（２） 札幌市生涯学習センターの管理運営

札幌市からの委託により，市民の生涯学習に関わる活動を支援することを目的とした札幌市生涯学習センターの管理運営を行った。

（ホール，各種研修室等の貸室事業，メディアプラザの運営等）

【実績】貸室利用者数424，325名 / 利用率73.5%

メディアプラザ利用者数54,587名

ニューズペーパーSa：〔サァ〕年6回（5月から隔月 / 各4,000部）発行

IT講習会参加者数910名

（３） 視聴覚センターの管理運営

札幌市からの委託により，視聴覚教育の推進，市民や学校への学習支援を行うことを目的とした視聴覚センターの管理運営を行った。なお，同センターは，平成14年4月に札幌市教育文化会館から札幌市生涯学習センターへ移転している。

ア 視聴覚教材の貸出

市内の小中学校をはじめ，幼稚園や児童会館，町内会やサークル等の団体に対し

て，学習活動に役立つ視聴覚教材（ビデオ，フィルム）を貸し出すとともに，新規

に制作・購入するなど教材の充実を図った。

【実績】教材貸出数11,095本

新規制作・購入教材数416本（うちフィルム16本）

現有教材数8,397本（うちフィルム3,238本）

イ 札幌市中学校校内放送技術講習会(共催：札幌市中学校放送教育研究会)

年2回(平成14年8月,平成15年1月),市内中学校放送局員を対象に番組制作のための放送技術やアナウンス等の向上を図る目的に講習会を開催した。

【実績】参加校数21校/93名

ウ 札幌市中学校校内放送コンテスト(共催：札幌市中学校放送教育研究会)

平成14年7月に,市内中学校放送局員が制作した番組及び各校で活動するアナウンサーの技術を競うコンテストを開催した。

【実績】参加校数9校/60名

エ 日本映画名作祭

東京国立近代美術館フィルムセンターから,同センターが保有する貴重な日本映画フィルムの提供を受けて実施した。11月29日~12月1日の3日間に渡り,現在では劇場公開されることの少ない日本映画の名作4作品(「隠し砦の三悪人」「風林火山」「次郎長三国志」「叛逆児」)を,札幌映画サークルと協力・連携して上映した。

【実績】入場者数812名

7 収益事業

(寄附行為第4条第7号に掲げる事業)

(1) 売店・自動販売機事業(札幌市青少年科学館)

札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として,来館者のサービス向上を目的とした売店・自動販売機事業を行った。

(2) レストラン・自動販売機事業(札幌市生涯学習センター)

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として,来館者のサービス向上を目的としたレストラン・自動販売機事業を行った。